



ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和4年9月13日
NO. 66



うららかに たくましく ~耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

花は優しい 見る人を慰めて 何も見返りを求めない



この糸が綺麗なのは 心の中に薔薇を一輪持ってるからだ

花・花壇とともに

昨日9月12日(月)、全県花壇コンクールの審査が行われた午後、昨年も行いましたが、自分たちが手入れをして育ててきた花・花壇を、じっくり観察し、各自の視点でスケッチする全校花壇スケッチ会を行いました。

太中生にとって、いつも身近で日常となっている本校の花と花壇ですが、あまりにも当たり前すぎて、じっくり見る機会がないのではと感じることもあります。でも、よくよく1本1本の花や、どこに何をどう植えるか計算された花壇を見てみると…新たな発見や気付きがあります。花や花壇を愛好する気持ちや母校の取組への誇りの伸長にもつながる、本校自慢の花・花壇を、本校自慢の子どもたちの学びの教材にと考えたスケッチ会です。また、国語の時間も使いながら、花や花壇を俳句(川柳)や短歌に詠んで見つめ直してもいます。昨年度以上に、花や花壇に関わってきましたし、それを見つめる機会も充実させた今年度です。スケッチと短歌・俳句は“太中祭”で展示する予定です。



今年度は学校創立60周年を祝う節目の年であることは、これまで何度もお伝えしてきていますが、記念事業の一つとして、60周年記念写真を撮影し、クリアファイルにして太田地域全戸に配布する事業を進めています。数々の事情で、全校生徒がそろわなかったことは残念ですが、その写真撮影を花壇が見頃の今日、9月13日(火)に行いました。この後、クリアファイルを作成しますので完成を楽しみにお待ちください。



「学校」という名の花壇に「生徒」という名の種をまきます
そして「絆」という肥料をあげます
すると「友情」という名の葉がつき
「親友」という名の花が咲き
そして「永遠」という名の種に戻るのです
(坂本金八 武田鉄矢)



桜梅桃梨

桜は桜らしく 梅は梅らしく
桃は桃らしく 梨は梨らしく
花を咲かせ実をつける
同じように人間も



それぞれの持ち味を活かした生き方をしなさい
(古今著聞集)

